

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【公開番号】特開2014-232323(P2014-232323A)

【公開日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-068

【出願番号】特願2014-110169(P2014-110169)

【国際特許分類】

G 09 F 9/00 (2006.01)

G 09 F 9/30 (2006.01)

G 02 F 1/1333 (2006.01)

H 04 N 5/64 (2006.01)

【F I】

G 09 F 9/00 350Z

G 09 F 9/00 362

G 09 F 9/30 308A

G 02 F 1/1333

H 04 N 5/64 581A

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月2日(2016.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

両側端が中央よりも前方に突出するように湾曲するボトムシャシーと、前記ボトムシャシーの後方に配置され、平板状を有する少なくとも1つの印刷回路基板と、を備え、

前記ボトムシャシーはその後面に、前記少なくとも1つの印刷回路基板が前記ボトムシャシーの後面から離隔するように前記少なくとも1つの印刷回路基板に連結される複数のスタッドを含み、

前記複数のスタッドは、前記少なくとも1つの印刷回路基板が前記湾曲するボトムシャシーに平板状に設置されるように、前記複数のスタッドの前記ボトムシャシーの幅方向における位置に応じて、前記ボトムシャシーの前記後面からの高さがそれぞれ異なる表示装置。

【請求項2】

前記複数のスタッドのうち前記ボトムシャシーの中央付近に位置するスタッドは、前記複数のスタッドのうち前記ボトムシャシーの前記両側端に位置する他のスタッドより高く形成される

請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記複数のスタッドの高さは、前記ボトムシャシーの中央部から前記ボトムシャシーの両側端に向かって漸進的に減少する

請求項2に記載の表示装置。

【請求項4】

前記複数のスタッドは、高さが前記ボトムシャシーの中央部に対して対称をなすように

配置される

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの印刷回路基板は、

電源を供給する少なくとも 1 つの電源基板と、

ディスプレイパネルを駆動させるパネル駆動基板と、

画像信号を前記ディスプレイパネルへ転送するタイミング制御基板と、

画像信号および音声信号を処理する信号処理基板と、を含む

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記複数のスタッドは、前記ボトムシャシーから後方に向かって一体的に突出する

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの印刷回路基板を覆うケースをさらに備え、

前記ケースは、両側が前方に突出するように湾曲して形成される

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記ボトムシャシーの前方に配置され、両側が中央よりも前方に突出するように湾曲して形成されるディスプレイパネルをさらに備える

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 9】

前記ボトムシャシーは、前記ディスプレイパネルを収納する

請求項 8 に記載の表示装置。